



校訓
敬・愛・信

平成30年度 島田市立川根中学校 グランドデザイン



◇ 学校教育目標 ◇

『たくましい川根中』

地域に根ざす小規模校の長所を最大限に生かした
活力に満ちあふれる「たくましい川根中」

◆ 重点目標 ◆

『自ら考え、感じて動く』

目標実現に向け、何が大切であるかを具体的に
考え、自ら進んで挑戦することで「実行力
・行動力」を身につけた生徒

＜国の学校創生プラン＞

- ・ 社会に開かれた教育課程
- ＜静岡県の基本方針＞
- ・ 「有徳の人」の育成
- ＜島田市の基本方針＞
- ・ 個に焦点を当てた教育
- ・ 信頼される学校
- ・ 豊かな心、確かな学力、健康な体
- ・ 和文化教育の推進

＜川根中の誇り＞

- ・ 三つの自慢「挨拶・合唱・きれいな学校」
- ・ 九州修学旅行
- ・ 和文化教育
- ・ 笹間神楽伝承活動と地域活動（総合）
- ・ 連携型中高一貫教育
- ・ 食育（自作弁当・残食0）
- ・ 地域に役立つ活動
- ・ 部活動

☆ 育てたい生徒の姿 ☆

自ら考え、
伝え合い、
高め合う生徒

- ・ 授業がわかる 90%以上
- ・ 自分の考えが言える 80%以上

自信と誇りを持ち、
進んで挑戦し、
やり抜く生徒

- ・ 自信や誇りがある 90%以上
- ・ 進んで挑戦している 80%以上

人や地域を思いやり、
役立つ行動が
できる生徒

- ・ 人や地域のために行動する 80%以上
- ・ 学校が楽しい 90%以上

P D C Aを活かす「きめ細かい評価」記名による学校評価（年2回）・生活アンケート・H Qの有効活用

経営の具体

育成の場

- ◆ 「課題把握」「個人追究」「集団追究」「振り返り」メリハリある授業過程
※研修テーマ『学びを言葉にする活動を通して、つきたい力を身につける学習指導の工夫』
- ◆ 生徒の手による主体的な活動の場
※三つの自慢「挨拶・合唱・きれいな学校」※スローガン：『常に前進』
- ◆ まずは日常生活での声かけ。そして、HyperQUの活用、面談や相談、個別支援など、生徒理解と個に応じた指導の場
- ◆ 川根小や地域との連携、川根地区連携型中高一貫教育の場
- ◆ 和文化教育（あいさつ・笹間神楽・茶室・伝統音楽・紙漉など）の充実・深化の場

意図的な働きかけ

- ◇ 「自ら考え、感じて動く」姿勢や過程を認め、励まし、価値付け、その姿を地域へと発信し、励ましのシャワーを浴びせ続ける ～『自己有用感』～
- ◇ 「相互のよさ発見の場」を設定し、ピアサポートの考え方を活かした「人間関係づくりプログラム」を活用する
- ◇ 言葉を大切にし、様々な表現活動を支援する

経営の目標

- ★ 「自ら考え、感じて動く生徒」の育成に向けて、個に応じたきめ細かい指導で、生徒に寄り添い、支え、励まし、多様な活躍の場・豊かな学びの場を保障する『信頼される教職員そして学校』
 - 言葉を大切にし、表現活動の導入により、「つきたい力」を身につける。
 - 個性を認め合い発揮し合って実行・行動し、豊かな「自己有用感」を育み、「自信や誇り」をもつ。
 - 温かい信頼関係の中で、具体的な目標を持ち、自分の可能性に挑戦し続ける。

経営の基盤

- ☆ 豊かな「川根の教育資源・教育環境（人、自然、伝統文化）」
- ☆ 学校を支える「家庭・地域との強い結びつきと信頼関係」
- ☆ 保護者・地域と連携した確実な「学校安全・危機対応」
 - ・ 危機対応マニュアルの整備と確実な安全点検・安全指導、日常の意識高揚
 - ・ 警察（駐在所）、自治会、交通安全指導員、消防署、川根小、保護者との連携体制
 - ・ 地域住民との防災会議、危機対応訓練の実施（避難、DIG、防災、事故・急病等）